

今、学校園がおもしろい!

発行：泉佐野市教育委員会
教育部 【2020年5月11日】

「安心・安全な教育環境醸成と主体的に考え、実行する子どもの育成」

教育長 奥 真弥

新型コロナウイルス感染症拡大禍のなか、新学期が始まりました。児童生徒のみならず、教職員、保護者、地域のみなさまには、かつてない大きな不安をおかけしての出発となりました。3月2日からの臨時休業と春休み、さらに臨時休業延長と、教育活動の停滞が続きます。児童生徒のみなさんには、どうか、健康・体力の維持を図るため、規則正しい生活に心がけ、目標をもち、自学自習をすすめてください。

厳しい情勢ではありますが、教育委員会として、今年度も「たしかな安心・安全と主体的に考え行動する学びの創造」を最重要課題として、施策を下記のとおり推進してまいります。

■学びの支援

- ①「泉佐野スタンダード」の活用、「泉佐野市子どもの主張コンクール」を通して、主体的・対話的で深い学びを推進してまいります。
- ②集団の質的向上と授業改善を図るため、今年も長坂小学校をモデル校とし、一年間を通して講師（ちょんせいこ先生）派遣を行い支援し、他校にも実践を広げます。
- ③外国語教育では、ALTを中学校区に1名ずつ配置します。
- ④小中一貫教育推進のため、各中学校に加配教員を配置します。市教委と協議し、研究・実践をすすめます。
- ⑤読書活動推進のため、全児童生徒に「泉佐野こども読書通帳」を配布、学校図書館司書、小学校図書館蔵書の拡充を図ります。

■安心・安全の支援

- ①スクールカウンセラー派遣拡充、生徒指導充実加配（上記④と同じ）、「泉佐野市いじめ防止等に関する条例」に基づく教育施策を推進します。
- ②各小学校通学路に、今年度も防犯カメラを1台ずつ設置します。また、防災行政無線を活用し、登下校こども見守りアナウンスを継続実施します。
- ③防災教育をさらに推進します。また、津波浸水危険区域校区を対象に被災地訪問学習を継続します。
- ④就学援助制度において、すべての援助項目を国基準に引上げ実施します。

■その他

- ①GIGAスクール構想実現のため、ICT環境を整備します。また、学校プール建設、体育館・武道場への空調機器設置、校舎改修、エレベーター設置、トイレ洋式化、机・椅子入替等、環境整備を順次進めてまいります。
- ②全小学校をカバーする加配教員を今年度も体育特認校である佐野台小学校に位置づけ、子どもが運動、スポーツに親しみ、体力、運動能力を向上させる取組みをすすめます。

令和2年度（2020年度）
教育委員会事務局 指導主事体制

担当課		氏名
学校 教育 課	指導 係	和田 哲弥
		中村 絵里
		北林 慧
		古谷 大助
		辻本 知嗣
		近藤 輝史
人権 教育 係	渡辺 健吾	
	青屋 智久	
	橋本 真吾	
教育総務課	十河 統治	
	山岡 史賢	



橋本 真吾 奥 真弥 本道 篤志
指導主事 教育長 政策監兼教育部長

どうぞよろしくお願いいたします。



「一生学び、一生向上」

政策監兼教育部長 本道 篤志

市役所に奉職後、15年間教育総務課で主に学校施設の建設を担当し、その後、人事課、市民生活課、政策推進課を経て、昨年までの2年間は東京事務所に勤務していましたが、約20年ぶりに教育部長として教育委員会に戻ってまいりました。

ひとつ学べば、世界がひとつ広がる、子どもたちに学校で学ぶことの楽しさを実感してもらい、大人になっても一生学び、向上する喜びを感じることができる教育環境を作るため、微力ですが頑張ります。そして、私自身も一生楽しみながら学び続けたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



「すべての子どもたちのために」

指導主事 橋本 真吾

4月に長南小学校から学校教育課へ、指導主事としてまいりました。小学校では特に人権教育に力を入れてきました。さまざまな人権課題から、子どもたちとともに「自らの生き方」について考えてきました。

その経験をいかし、誰一人として排除されず、すべての子どもが尊重され、幸せに生きることができるよう、これからの泉佐野市の教育に貢献したいと思っています。まだ慣れないことも多いですが、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。